

第 11 期定時株主総会 質疑応答要旨

第 11 期定時株主総会に関し、事前に頂戴したご質問及び当日株主さまから頂戴したご質問につきまして、その要旨を掲載いたします

- ▶ 開催日時： 2022 年 6 月 23 日（木） 10:00～11:36 （所要時間 1 時間 36 分）
- ▶ 開催場所： 三井住友信託銀行本店ビル 5 階 会議室
- ▶ 来場株主数： 97 名

< 事前質問要旨 >

①	三井住友信託銀行の支店におけるサービスについて
質問	・当グループの三井住友信託銀行における納税事務の取扱い店舗の縮小について教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・当グループは、資産管理・承継、及び資産形成といった社会課題に対応するため、当グループならではの商品・サービスの提供に注力することにより、競争力を高め、株主さまのご期待にお応えしたいと考えている。 ・納税のお手続きについては、コンビニエンスストアでの手続き、非対面・キャッシュレスでの手続きなどの選択肢が増加し、それに対応する税金の種類も拡大したことにより、三井住友信託銀行でのお取り扱い件数も、徐々に減少している。このような状況を踏まえ、日本銀行や地方公共団体、または指定金融機関などと協議しながら、一部の店舗において、納税事務のお取り扱いを取り止めさせていただいた。

②	三井住友信託銀行における元社員による不祥事件に関する再発防止対応の徹底状況等について
質問	・当グループの三井住友信託銀行における不祥事件を踏まえた再発防止策の徹底状況及び商品販売後の対応について教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修（コンプライアンス意識の醸成及び徹底、お客さま本位・信義誠実などの行動規範の周知を目的とした研修、営業店のマネジメント層を対象としたリスクマネジメントの強化研修等）を実施するとともに、各種取扱ルールの厳格化、モニタリングの強化など再発防止策を継続して実施している。 ・また、上記取り組みに加え、業務品質の向上、商品販売後のフォローアップなどお客さま本位の取り組みの徹底を行っている。 ・引き続き、お客さま本意の取り組み及びサービス向上の大切さを指導・徹底し、お客さまに支持される誠実で質の高い仕事を着実に実施してまいりたい。

③	三井住友信託銀行における SDGs の実現に向けた取り組みについて
質問	・当グループの三井住友信託銀行における SDGs の実現に向けた取り組みについて教えて欲しい。
回答	・当グループは昨年 10 月、カーボンニュートラル宣言を行うとともに、金融機関の業態別アライアンスに加盟した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・また、様々な取り組みの実効性を高めていくためには、会社目標・方針のみならず、役員・社員一人ひとりの心がけ・意識づけが大切と考え、地域に根差した社会貢献活動（With you 活動）にも積極的に取り組んでいる。 ・さらに、使用電力の再生可能エネルギーへの切り替え、紙使用量の削減、頒布品の素材の見直しなども進めている。三井住友信託銀行の国内拠点では、2020年度の電力使用量は2016年度比▲19.2%、紙使用量は▲33.7%となり成果が上がりつつある。 ・当グループは、運用資産約120兆円と国内最大手の運用機関として、資産管理残高約240兆円と国内最大手の受託機関として、貸出が約30兆円の大手銀行として、様々な立場を持つユニークな存在といえる。それぞれの立場を最大限活用した取り組みを進めてまいりたい。併せて、気候変動に関するリスクと新たなビジネスチャンスへの取り組みについて、分かり易い開示に努めたい。
--	---

<当日質疑要旨>

①	三井住友信託銀行における預金金利の水準について
質問	・三井住友信託銀行における預金金利の水準が低すぎるように思うが、どのようにお考えか教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・預金金利は、マーケットからの市場調達金利を含む金融情勢などを総合的に勘案のうえ、決定している。 ・国内の金融情勢などを踏まえ、預金金利は低水準に留まっている。一方で、お借入については住宅ローンなどが低金利となっている。このような状況について、ご理解いただきたい。

②	日本銀行の金融政策について
質問	・日本銀行の金融政策に対する当社の考えについて教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は日本銀行の金融政策に対して意見を述べる立場になく、コメントは差し控えたい。 ・金融市場を含めて不確実性が高まっている状況であるが、守り、攻めの両面で適切な対策を講じながら、成長してまいりたい。

③	会計監査人の株主総会出席について
質問	・会計監査人を株主総会に出席させない理由を教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・監査委員会として会計監査の妥当性、品質管理について問題ない旨を確認している。また、監査委員である取締役が株主総会に出席しており、株主さまに十分なお説明が可能であると考えている。 ・法令上も会計監査人の出席は必須ではない。

④	当社の会計監査人の継続理由について
質問	・当社の会計監査人の継続の理由について教えて欲しい。
回答	・会計監査人の選任に当たっては、その独立性や専門性、当社に関する知識・経験につ

	<p>いて、監査委員会で確認している。また、会計監査人における関与社員の入れ替えも適宜実施され、新たな視点が導入されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社の会計監査人の職務執行の状況は、現時点において問題はないが、今後とも継続的に適切性をしっかり確認してまいりたい。
--	--

⑤	補欠監査役の選任要否について
質問	・補欠監査役の選任の要否について教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は、指名委員会等設置会社を選択しており、監査役は設置しておらず、補欠監査役の選任は不要である。 ・不祥事件を踏まえた監査の実効性の向上については、引き続き努めてまいりたい。

⑥	他の金融グループと比較した三井住友トラスト・グループの特徴について
質問	・他の金融グループと比較した当グループの特徴について教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・当グループは、信託銀行を出自とした専門信託銀行グループとなっており、グループの中に信託銀行以外にも三井住友トラスト・アセットマネジメント、日興アセットマネジメントなどの運用会社を有し、ユニークな金融グループとなっている。 ・当社は、パーパス（存在意義）を「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」と定めており、今後も大きな成長を遂げるための施策を積極的に考えていきたい。

⑦	監査委員会の独立性及び監査の充分性について
質問	・監査委員会の独立性と監査の充分性について、現在の体制で問題ないのか教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・当社では、ガバナンスの強化を企図し、監査委員会のほか指名委員会、報酬委員会、さらには取締役会についても議長は社外取締役が務めている。社内外の取締役による透明性ある議論を通じ、持続的な成長を実現し、株主の皆さまに信頼されるガバナンスを構築していく所存である。 ・監査委員会としては、グループ全体の内部統制の状況やリスク管理の状況、子会社のガバナンスの状況等について、グループ全体の関係部署と連携しながら組織的に監査を実施している。 ・不祥事件に関しては、監査委員会は再発防止策に対する経営層のリーダーシップの発揮状況やリスク情報の伝達の状況、それらをベースにしたリスク管理体制や内部統制について検証し、相当であると判断し、監査報告をさせていただいた。 ・監査委員会としても更なる機能の高度化の余地があると認識しており、今後とも一層励んでまいりたい。

⑧	株主総会資料の電子提供制度導入後においても株主への書面交付を行うか否か及び書面交付請求手続きについて
質問	・株主総会資料の電子提供制度に係る定款一部変更が承認された後も、株主全員に書面

	で株主総会資料を交付する予定はあるか。書面交付請求手続きについても教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・株主さまに一律に書面での株主総会資料一式を送付することは予定していないが、引き続き書面交付をご希望の株主さまには、書面で株主総会関係資料を送付させていただく。 ・書面交付の請求は、株主さまが口座をお持ちの証券会社あるいは当社の証券代行機関である三井住友信託銀行にてお手続きが可能であり、お手続きの詳細は後日送付するご案内をご確認いただきたい。

⑨	円ドル為替相場の今後の見通しについて
質問	・円ドル為替相場の今後の見通しについて教えて欲しい。
回答	・マクロ経済的観点からは、為替相場は基本的に日米金利差をベースに円安基調が継続するという見方が多いと理解している。但し、為替相場は日米金利差のみで決定するものではなく、国際政治の状況を含め様々な要因が影響することから、見通しは非常に難しく、当面はボラティリティが高い状況が継続すると考えられる。

⑩	円ドル為替相場の変動による業績影響について
質問	・円ドル為替相場の変動による業績影響について教えて欲しい。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・当グループが保有している外貨建て資産については、円安になると円換算での価値は上がることから、その部分については業績にプラスの影響となる。 ・為替相場や金利の変動などによる影響をしっかりとマネージし、ご期待に添える業績を上げてまいりたい。

⑪	外国為替売買損益の内容について
質問	・招集通知 35 頁で注記されている「外国為替売買損益」の内容について教えて欲しい。
回答	・「外国為替売買損益」には、ディーリングとして実施する取引によるもののほか、当グループが海外の拠点で譲渡性預金のように短期で調達した資金を、為替フォワードで円転し、運用している取引によるものが含まれる。後者は実質的には資金取引と言えるものであるが、会計上は外国為替売買損益として計上されるため、注記している。

以上